

発言通告書の要旨(一般質問)

平成30年第1回定例会

質問日	質問順	議席/氏名	件名	要旨
3/12 (月)	1	7 西山彰人	1、永康病院の存在について	永康病院がなぜ現在の場所にあるのかについて、市長に伺う。
			2、人口減少問題について	市長の所信表明施政方針でも述べているが、今までの総括がどうなっているのか。
			3、三豊市のイベントについて	三豊市のイベントについて、今後どうするのかの議論をすべきと思うがどうか。
			4、讃岐造船所の跡地について	公園化し駐車場を整備すべきと思うが、市民の意見を聞き検討する予定はないか。
	2	22 横山 強	1、人口減少問題について	(1)人口減少に立ち向かう市政とする施策の詳細を伺う。 (2)機能の集約化、複合化を軸とした適性配置とする施策とする詳細を伺う。 (3)市民の安全・安心・幸せを守るとする、各分野への積極的な取り組み、市外への人口流出を抑え市内への人口流入を積極的に促すとする施策等を伺う。
			2、活気あふれる産業について	(1)農業・漁業の衰退に対し、活気とする施策を伺う。 (2)①有害鳥獣の駆除対策とするICTの導入の成果を伺う。 ②ICT導入以外の有害鳥獣駆除対策とする施策も伺う。 (3)農林水産業において、先駆的に先端技術を活用した振興等について、具体的な施策等を伺う。
3/14 (水)	3	11 石井勢三	1、人生100年時代が到来すると言われている中、市としての今後の対応について	人生100年時代が到来すると言われている。定年退職や現役引退するとその後は余生、というこれまでの人生モデルでは通用しなくなりつつあるという見解が有力と見られている。2017年には日本の国政においても「人生100年時代構想会議」も開かれ、教育への投資やキャリア形成などについて議論が交わされている。健康、働き方等について、三豊市においての対応としての考えを伺う。 ① 人生100年を健康で生活するための、健康寿命を延ばす対策、取り組みは。 ② 定年退職後の、再雇用、再就職での企業との連携は。 ③ ボランティア、趣味、集いの場づくりの取り組みは。
			2、三豊市の耕作放棄地の現状と今後の対策について	少子高齢化や人口減少が進行する中、農業就業者の高齢化、減少、リタイア等による農地の荒廃や、担い手の不足等による生産基盤の脆弱化等が進行していると思われる。三豊市の耕作放棄地の現状と今後の対策について伺う。
			3、投票率向上について	この度の三豊市長、及び三豊市議会の選挙において、投票率の大幅低下となっている。今後の投票率向上の対策を伺う。
	4	10 市川洋介	1、人口減少と各産業における労働力不足問題について	(1)三豊市における人口減少と労働人口の推移と状況 (2)ファンド事業の創設について (3)三豊市職員募集の現状とその後について (4)民間企業の人手不足の現状
			2、三豊市における基金の運用について	(1)平成29年度の基金運用の実績 (2)基金の運用先 (3)平成28年度との運用実績の比較 (4)基金運用の今後の展開

発言通告書の要旨(一般質問)

平成30年第1回定例会

質問日	質問順	議席/氏名	件名	要旨
3/14 (水)	5	3 湯口 新	1、三豊市のにぎわいづくりについて	① 過去12年間で、三豊市が一体となった祭りの開催について、何度か話は上がったと聞いているが実現していない。これまでの経緯とこれからの展望について。 ② 隣国韓国で開催された冬季オリンピックが前評判を上回る盛り上がりを見せて閉幕した。東京オリンピックに向けての三豊市の関わりについて。
			2、中学校の部活動について	現在の中学校教育において、部活動は教師・生徒両面から多くの問題を含んでいる。教師の皆様においては部活動による労働時間の長時間化、生徒においては部活動の種類の減少により好きなスポーツに励めない現状。対策を聞く。
			3、選挙について	① 投票に行けない高齢者等への対応について。 ② 選挙カーの運行のルール化およびシステム化について。 ③ 若年層が選挙に挑戦しやすくするための公費負担制度の充実について。
			4、爺神山の採石場および高瀬駅周辺問題についての進捗状況について	① 過去何度か取り上げられている爺神山採石場跡地周辺問題の進捗状況について ② 過去何度も取り上げられている高瀬駅周辺の整備問題(トイレ・バリアフリー)の進捗状況について
	6	17 岩田秀樹	1、住宅リフォーム助成制度の実施について	住宅リフォーム助成制度、来年度の計画はどうなっているか。事務事業評価結果を報告。次年度の予算特別委員会において、来年度予算への反映状況を検証する事になっている。 予算はどうなっているのか。委員会の報告でも、評価区分は拡充とある。
			2、国民健康保険が4月より都道府県化に移行に伴い、独自減免の実施を求める	市町村は新制度でも賦課・徴収の権限を有している。今後も法定外繰入を維持し、高すぎる保険料の値下げと、独自の減免制度の実施を求める。 今回の改定は均等割を値上げするなど「子育て支援に逆行する」ものである。
			3、介護保険料の減免制度の実現を	介護保険料の改定案が提案されている。段階は増やされてきたが、無収入者と高額所得者の差がわずか3.7倍と極めて逆進性が高いのではないかと。2段階と3段階の保険料率が同率では意味がない、第1段階の保険料の引き下げを実施すべきである。保険料の減免制度の実現を求める。
	7	18 坂口晃一	1、三豊市の農業の未来像について	① 農地の有効活用、規制緩和に対する市の姿勢について ② 国県の補助金の活用に対する市の考え方
			2、公共施設の利活用の目的と効果についての考え方	今か将来か→町づくりは
			3、税の公平について	① 評価額は何が基準か→現況主義か？市況か？ ② 農地、宅地の基準について？